

NPO 法人住まいのホームドクター／設計者の会
460-0006 名古屋市中区葵 1-27-32 カイフビル 7階

HD ニュース
No.30
2015.8.15

今後の予定／於：事務局会議室

- 9月10日(木)18:00～ 理事会(+委員長)
- 9月15日(火)18:00～ マンション大規模修繕研究会
- 9月15日(火)19:00～ 研修会
- 9月17日(木)18:30～ 木造技術研究会
- 10月1日(木)18:30～ 総会
- 10月15日(木)16:00～ 構造計算プログラム導入セミナー

愛知建築士会地域貢献活動助成金交付の応募結果報告 副理事長 森 登

昨年度に引き続き 27 年度も同様の事業内容で、対象地域を西尾市地域の一部及び碧南市西端小学校区以外の小学校区に移し、助成金交付の応募申請をしました。(平成 27 年度の事業概要は HD ニュース No.27 をご覧ください)

残念な結果ですが、落選しました。

7月4日に開催されたヒヤリングでは、収支予算書の自己資金について質問がありました。内容は、「申請された今年度の事業予定の内容から判断すると、26年度と同様に活動の中心は NPO 役員が主体となるから、その場合は NPO の自己資金でまかなう事が出来るのではないか、自己資金を見直されたらいかがか？」という内容だったと記憶しています。つまり結果として、関った NPO 役員に人件費が支払われることについてはいかがなものか、「助成金は公益性を伴った活動に交付する」という交付の性格上認められないのではないか、ということだったと推測します。

後日送付されてきた結果通知に記述された落選の理由には「執筆料など内部役員への報酬と思われてもやむを得ない不明瞭な支出が多くを占め」とありました。助成金交付は、当 NPO 会員の事業活動人件費・執筆料・交通費以外の、必要経費(例えば資料費・材料費・講演会会場費・外部要員人件費等)を対象としなければならないということです。当 NPO 会員以外の人間で活動を行なってくれたヒトとモノに支払われるべきだということです。26年度の収支報告を見る限りはそのようになっていないから、今年度の助成金交付はできないということでした。

言い訳になりますが、そもそも 26 年度は初年度の

事業で、今後に向けての基礎資料作り(調査及び研究)としていました。27年度の事業でいきなり地域の人に参加願って活動していただく、などというのはとうてい無理なことですし、地域に認知されるまでは時間が必要です。ちなみに他の申請団体の場合は、特定の地域での活動で、今までの下積み・種まき期間が既に有り、そのような背景の下で活動してくれる地域のヒト・モノに助成金交付が認められたようです。“地域に認知されるまでの種まき活動については、助成金交付の対象にはなりにくい”と感じました。仮に今後、建築士会の助成を受けるのであれば、活動内容を見直す必要があると思います。しかし建築士会の助成金交付の条件は、当会の事業活動には馴染まないと感じました。もともと当会の活動は、特定の地域を対象としていませんし、会員の所在地域も東海三県下にまがります。ですから応募資格に「その団体の代表者が支部長の推薦を受けていること」などという条件が付けば、いつそう困難になります。助成交付申請には建築士会支部長の押印が必要でした。

地域活動において種まきの時期が最も大変なのであって、これに助成金交付を期待できないのであれば、この活動が当てはまりそうな別の助成金交付にエントリーすることになると思います。

どこかの助成金交付にエントリーするとしても、事業目的・事業内容を分かりやすい地域巻き込み型に見直す必要がありそうです。地域に種まきするようなイメージでしょうか。

会員皆様のご意見をお聞かせください、よろしく願いいたします。

8月30日全国各地で、また東京では、主催者発表12万人の大規模な「安保法案反対」のデモがありました。海外では、日本人が政治に目覚めたと話題にもなったほどです。憲法学者や、元裁判官などの法律の専門家や多くの知識人、市民が、「憲法違反」だと反対しているにもかかわらず、政府と政権与党は「議席」が多数であることにより近々強行するようです。

しかし、2014年の衆議院の総選挙がどうであったか振り返ってみると、投票率は全国で「52.66%」、60%を超えた都道府県はありません。さらに政党の得票率を見ると、自民党33.1%、公明党13.8%、与党合わせても46.9%しかありません。結局、国民の4人に1人しか与党に投票していないわけです。その与党は、衆議院475議席の内、326議席の圧倒的

多数を占めています。占有率は、68.6%になります。その議席数に物を言わせて、多くの市民が反対しているのにも関わらず、「安保法案」や「原発再稼働」を行おうとしています。

民主主義は、最後には多数決で決するという事は理解できますが、このような選挙争点にもなっていない（小さく公約で書いていたかもしれないが）個別の問題で、投票した議員に白紙委任したつもりはないというのが、多くの市民感覚ではないでしょうか。

間接民主主義、特に少ない得票で多くの議席を獲得できる「小選挙区制度」の限界が来ているように思い、このような「安保法案」「原発再稼働」のような国民的課題に対しては、直接民主主義の制度を取り入れることが必要な時期に来ているように思います。

11月8・9日研修旅行(信州)参加募集

木造技術研究会委員長 寺島一朗

今年も恒例の研修旅行を計画しました。行程は、11月8日(日)AM8:00金山集合、11月9日(月)PM6:00金山解散予定です。

① **小笠原資料館(旧小笠原書院)** 長野県飯田市
妹島和世の母親が小笠原家出身だそうです。平成11年完成。旧小笠原書院は重要文化財になっています。

② **海野宿** 長野県東御市

北国街道の海野宿は、伝統的な家並みが現在まで保存されていることから、「日本の道百選」や「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。江戸時代の宿場の建物と、明治以降の養蚕造りの建物がよく調和する町並みです。

③ **デッサン館・無言館・槐多庵** 長野県上田市
作家故水上勉さんの息子である窪島誠一郎さんが私財を投じて運営されている、世界的にもユニークな美術館です。デッサン館は、立原道造・関根正二など若くして病死した画家のデッサンを中心に展示しています。無言館は、戦没画学生たちの遺作となった絵画・作品・絵の道具・手紙などを専門に収蔵展示しています。槐多庵は、北川原温の設計です。

④ **鹿教湯(かけゆ)温泉**での宿泊を予定しています。

⑤ **松本城** 長野県松本市



旧開智学校

⑥ **中町** 長野県松本市

土蔵造りの家が今尚多く残り、民芸・工芸・飲食など蔵のある街をコンセプトに独特の街並みを形成しています。

⑦ **旧開智学校** 長野県松本市

現在保存されている校舎は、明治9年4月に建てられました。構造は木造で棧瓦葺、寄棟2階建土蔵造りで、中央に「東西南北」の風見を配した八角塔が高くそびえ立ち、各窓に舶来のギヤマン(ガラス)を取り付けた、和風と洋風の入り混じった擬洋風建築の代表的なものといわれています。昭和36年に国の重要文化財に指定されました。

詳細が決まりましたら、メーリングリストで配信します。会員外の参加も可能です。お誘いあわせの上での御参加をお待ちしています。

